



2020年6月

↑HPIはこちらから



編集長 金子の巻頭ご挨拶

みなさん、はじめまして！新編集長に就任いたしました、金子です。前編集長を見習って、みなさんが読みたくなるようなランナーを目指します。よろしくお願いいたします！

私の趣味は野鳥観察です！ここでは野鳥についていろいろ語ってしまうかもしれませんが、温かい目で見守りくださいませ…。野鳥観察を兼ねたハイキングが好きなので、コロナが収束した頃に行こうと思います。どんな場所にも野鳥はいるので、みなさんも耳を澄ませて、いろいろな鳥の鳴き声をきいてみてはいかがでしょうか。



発見と学び！ダイリンの体験記

【パートタイマーにこそ、愛を込めて、最適な労働環境を提供しよう！】

今回発見した宝物は、作物を栽培する植物工場において最も活躍している、パートタイマーです。パートタイマーの方々には、仕事の効率を上げるために役割分担をおこない、単純作業をしていただいています。また、作物の生育状況等に応じた労働時間の調整などに協力していただくこともあります。このように、大切に、なくてはならない方々のために、最適な労働環境を整えるべきだと感じております。実際に現場で愛を感じたものを紹介いたします！

◇休憩室に自由に使用できるテレビなどの共用の家電を用意する
→リフレッシュにつながる

◇お弁当や販売規格外品などを提供する
→モチベーションアップにつながる

◇植物工場の近況を共有する
→植物工場の一員として、責任感と仲間意識を持つことにつながる

植物工場を長期的に継続させるためには、パートタイマーの立場から最適な労働環境を考え、定着率を高めることが大切だと思いました。



はとりんの花だより

本号より、ランナーの一角におじゃまします、“はとりん”こと服部です。お花を見るときに、ほんのちょっと楽しくなれるような豆知識をお届けできればと思います。今回のテーマは「アジサイ」です。アジサイは別名「七変化」と呼ばれるように、土壌の性質によってお花の色が変わることで有名な植物です。

アジサイのなかには、白いお花を咲かせる種類があることを皆さんはご存じでしょうか。白いアジサイのお花には、色のもとになるアントシアニンがほぼ含まれないため、白色のまま変化しないそうです。

白いアジサイの代表的な花言葉は「寛容」。環境が変わっても色を変えないお花の姿を、人の“おおらかさ”に例えたようです。そんな白いアジサイを、身近な心の広いあの人に贈ってみるのはいかがでしょうか。





本号から新しい風が入ってきたランナーで、新コーナーを担当することになりました。題して「福くんの温室わかばコラム」です！このコーナーでは、温室の部材や設備について、その一部に注目し、どのようなものなのか、なぜ必要なのかを紹介していきます。「これを読めば、温室を見たときに100倍面白くなる！」ものを目指します！！

【そもそも温室とは？】

温室とは、植物が成長するうえで重要となる「気温」「光」「水分」「CO₂」などを、日の光を通す被覆資材で外の空間から切り離し、植物にとってより成長しやすい環境に近づけた施設のことです。

太陽光を利用した温室のなかで、環境制御技術が高く、季節を問わず安定した栽培が可能な温室を「太陽光利用型植物工場」といいます。従来の温室は収穫期をずらすことはできても、いつでも収穫できることは困難でしたが、制御技術の発展によりそれが可能になりました。温室は植物にとってより良い環境を提供するために、日々進化し続けています！



かわむーの千葉研究農場トマト便り

日中は汗ばむほど暑くなってきて、夏が近づいてきたのを感じます。この季節は、厄介な害虫であるアザミウマが発生しやすくなっています。

アザミウマは別名スリップスと呼ばれ、体長は約1~2mmで細長い形をしています。ウイルス病を媒介するほかに、作物への吸汁によって斑紋や褐変などの被害を生じさせます。予防方法は、光反射性の高いシートや赤色防虫ネット、紫外線除去フィルム、黄色や青色の捕虫トラップやLEDライト、天敵の利用などがあります。種を見極め、適切な方法で防除しなければ効果が得られないこともあります。

千葉研究農場では、本圃外周に小泉製麻株式会社の「虫フラットシート」を試験導入しました。「虫フラットシート」は全面白色のシートです。シートに反射した紫外線域を含む光により、アザミウマなどの微小害虫に飛行散乱を生じさせ、ハウス内への侵入を防止します。同じく厄介な害虫のコナジラミへの効果も気になるところです。またハウス内で使用することで、光が届きにくい植物の葉裏まで反射した光が当たり収量アップが期待できます。ほかにも遮熱や防草の効果が見込まれており、マルチングなどにも利用できます。



実際に敷いた様子を晴れた日に撮影すると眩しいくらいの高反射！これはかなり期待できそうです。



近年、アザミウマ類をはじめとする薬剤抵抗性害虫の出現が問題視される一方、安全・安心な農産物の需要が高まっています。今回のような防除技術を利用し、農業に頼りすぎない総合的病害虫管理（IPM）を目指していきたいものです。

☀️ 来月予告 ☀️

来月から、メールマガジン読者限定の特典・キャンペーンをおこないます！
ご期待ください！



ランナーvol.32 2020年6月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 営業事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。